

～目次～

【1】TKK活動

【2】加盟団体の活動

【3】行政、他団体の活動

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 表題の< >はシリーズ開催です —

【1】TKK活動

* *

●東京都へ予算要望書提出 9/3(火) 東京都庁、理事、会員にて要望書提出

●実践的アプローチ講習会 9/29(日)、JA 共済ビル

==== 最初に登壇された鈴木智敦氏のご講演から、制度として高次脳機能障害等支援普及事業が実施されているとは言え、全国的には地域格差が目立ち、その現状分析に、今後の高次脳機能障害者支援法制定に向けての多くの示唆がありました。支援法制定にあたり、これらの実態が重要なヒントになる内容でした。大切な内容ですので、以下に要点をまとめました。また他のセッションの概要についても記しましたのでご高覧下さい。 =====TKK 理事長 細見みゑ

1) 鈴木智敦先生(名古屋リハ):「高次脳機能障害支援施策の現在 そして未来と課題」

○国の高次脳機能障害支援に関する施策の経緯の中で、「地域生活支援事業」について特に注目してほしい。支援拠点機関は H22 年に全都道府県に設置され、H30 年 6/1 に 104 か所、R 元年 6/1 時点では 113 か所となっている。これまでの、みなさんの努力を含め、高次脳機能障害に関する様々な支援は確実に進んできてはいるものの、高次脳機能障害等支援普及事業(地域生活支援事業の都道府県必須事業のひとつ)の実績額だけを見れば都道府県によって大きな開きがある。地域生活支援事業は、統合補助金であり各都道府県とも予算の確保に苦慮している。

また、地域生活支援事業のうち、特に時限的にも優先的に実施してほしい事項は「地域生活支援促進事業」として位置付けられている(H29 創設)。令和元年度では、発達障害に関する事項や医療的ケア児、障害者の芸術・文化等々が含まれているが、現状、高次脳機能障害は含まれていない。

○国は、地域で先駆的に良い実践をしていることがあれば、必要に応じて、新たなサービスや報酬への反映等を考えてくれる。H30 年度に【新設】された「自立生活援助」などは、そのよい例であり、横浜市で行われていた、主に一人暮らしの精神障害者の方等への見守り支援「自立生活アシスタント事業」をベースに国が取り入れたものである。一定条件での一人暮らしの障害の方への訪問・見守り支援が実施され、一人暮らしの継続に繋がっている。これは、高次脳機能障害の方も利用できるため有効に活用してほしい。

こんなサービスがあったら良いとか、ここが、こうした手間がかかるので報酬を上げてもらえると助かるとか、など、現場からの声・要望を具体的に、整理してとりまとめ提案していくことが望まれる。

○現場における課題感への対策試案として、鈴木氏は以下の 5 つを挙げられた。

1. 地域生活支援事業の支援普及事業から、支援促進・機能強化事業へ(まずは)。
2. 医療との連携強化、介護保険 2 号被保険者の優先原則の流れの中、必要な支援(リハビリ)にのれていない人がいる。

⇒制度の流れの再構築、てこ入れの法が必要である。

3. 多くの支援者が高次脳の方への対応を十分に実践できるほどに学べていない。⇒学ぶ方法と学ばなければいけないインセンティブ(報酬での評価等)が必要である。

4. 社会的行動障害について、地域の対応力と支援力が不足している。さらに本人・家族・支援者・社会等の理解不足故に、二次的な社会的行動障害が生まれている。

⇒本人が障害を認識する時間と、自立訓練等(適切な流れ)が不足。

⇒地域と支援者の対応力の向上と、社会的行動障害への支援体制が必要。

5. 地域の医師は診断や診断書を書いてくれない、見つからない。

⇒協力医療機関関係の発掘・依頼、システム化が必要である。

2) 山口加代子先生(中央大学講師、心理士):「高次脳機能障害 必要な支援 ー心理士の立場からー」

・行政的診断基準の4つの症状(記憶・注意・遂行機能・社会的行動)のうち、心理面から見た社会的行動障害の分析と対応を、また当事者と家族の心理解析・具体的解消法提案など、家族支援の重要性について話されました。

3) 渡邊 修先生(慈恵第三病院診療部長):「高次脳機能障害に対する医療機関の役割」

・身体障害、高次脳機能障害、心理社会的問題から判断した医学的診断をすること。医学管理～リハビリ治療～地域連携・就労支援～方向性を一緒に考え提案し、目標を設定すること。当事者・家族共にメンタルな支援が必要であることを語られ、「高次脳機能障害のある方のご家族への『介護負担感』に関する実態調査」(H30年10月)も配布しました。

上記の実態調査報告書は、TKK-HP http://www.brain-tkk.com/index/show_board.php?boardAct=view&readNum=208 からダウンロードできます。

4) 古田兼裕弁護士、渡邊修先生:事例検討、交通事故被害による高次脳機能障害者とその家族に必要な支援とは?

・古田弁護士から「交通事故・治療と賠償」についてご講演頂き、後半は渡邊先生のコーディネートのもと、困難事例の交通事故事件、治療、リハビリ、自賠責、労災、退院後の介護や施設などについて、皆様と熱い検討会が繰り広げられました。

<医療及び家族相談会>

・第4回 10/27(日)、第6回 2/16(日)、会場:東京慈恵医科大学第三病院 2階

・第5回 11/24(日)、 会場:東京都心身障害者福祉センター12階

◇申し込み:kurakata@brain-tkk.com 090-1734-5114 (担当:蔵方) 事務局 Tel/Fax:03-3408-3798

詳しくは:http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=220

<港区主催(TKK事業受託)「高次脳機能障害 相談会」>

4月～2020年3月の毎月第3木曜日 午後、港区立障害保健福祉センター 6階相談室

◇ 申込:港区障害者福祉課精神障害者担当 TEL:03-3578-2457

港区立障害保健福祉センター 高次脳機能障害相談員(OT・ST・PSW)や、困難を乗り越え様々な体験をしてきたTKK役員と家族会「みなと高次脳」役員が相談に当たります。

詳しくは: http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=221

【2】加盟団体等の活動

* *

●ハイリハキッズ 第1回 ピアサポーター養成研修会 9/23(火)、国立オリンピック記念青少年総合センター
====(研修会の資料より)この度は第1回ピアサポーター養成研修会にご参加いただき誠にありがとうございます。
ハイリハキッズは今年で13年目を迎えました。昨年度からキッズ・ジュニアに参加する当事者のお子さんの
年齢対象をキッズは小学生以下、ジュニアは中学生以上に変更しました。キッズ、ジュニア共に一部の役員や世
話人が変わり、新体制で運営をしています。新役員、世話人の方々から「ご家族(特に受傷・発症して間もない方、
新規参加家族)に対しての『言葉がけ』や『かかわり方』についてどのようにしたらいいのだろうか?」という声
が上がるようになりました。本研修会は、今後キッズネットワーク宿泊イベントにおいて継続的に実施する予定です。
第1回目は一般参加を募らず、各家族会の役員や世話人の方々に参加のお声がけをしました。講師は富山大学 人文
学部准教授の伊藤智樹先生です。伊藤先生はキッズネットワーク宿泊イベントで第3回はジュニアトーク、第4回
はパパトーク、第5回はきょうだいトークのファシリテーターを務めてくださいました。(パパさん達のナイトミー
ティングのファシリテーター?もですね)

そして、皆さまに事前にお伺いした質問「家族会活動において、こういう話し合いで救われた、〇〇だった時に救
われた等々を教えてください」「聞き手の立場として悩んでいる、困っていること」の回答が大変すばらしく、その
思いを共有したい!ということで、研修会の後に「ランチ会」を行います。本資料をお目通しいただき、親睦を深
めていただけましたら幸いです。短い時間ではありますが、共に学び、いつものように「あたたかな仲間づくり」
の輪を広げていきましょう!

====ハイリハキッズ 代表 中村 千穂

○ハイリハジュニア定例会

- 1)昭和記念公園にてバーベキュー10/6(日)
- 2)マザーズランチ会 11月、お母さん方対象
- 3)クリスマス例会 12/1(日)、江戸川区区内区民会館

○言語生活サポートセンター、ワックル、カフェ、講習会等

- 1)失語症カフェワックル:10月20日、12月16日
- 2)失語症家族カフェ:11月17日
- 3)第2回要点筆記講習会:10月31日
- 4)失語症者のためのパソコンタブレット教室:10月5日、10月19日~~全10回土曜日午前中
同時開催、午後・失語症アプリ講習会(開催日はNPO法人日本失語症協議会へお問い合わせください)

○いちごえ会定例会

- 1)ほっとかふえ 誰でも自由に、参加費500円、10/19(土)14:00~
小金井市萌え木ホール(小金井市前原3丁目33-25)、 詳細は <https://ichigoe.org/archives/2752>
- 2)茶和会 主に介護者の交歓会 介護の悩み、苦労などについて意見交換会
11/9(土)13:30~ 増村マンション集会室(小金井市本町2-20-9-103)
- 3)第21回交流会(当事者主導) どなたでも参加可能 クリスマスフェスタで、ゲームなど盛り沢山!!
12/21(土)13:00~ 小金井市前原3-33-25(前原暫定会場1階A室)

○杜のハーモニー♪『高次脳機能障害者と家族にとって必要な支援とは』

10/19(土)13:30~16:00 総合福祉センター 5階 トレーニングルーム

講師:調布市福祉健康部障害福祉課 主任 小島氏。出席者:杜のハーモニー♪ 当事者、家族

* 次の内容について話し合います。

・精神福祉手帳(高次脳機能障害)について ・就労/子育て/支援者支援 ・緊急時の受け入れ、ショートステイ、グループホーム ・移動支援・交通福祉サービス等 ・成年後見制度 ・高次脳機能障害者への介護職人材の育成・確保等。
==調布市行政はありがたいことに、聞く耳を持っておられます。行政との距離感は、要望者側にとってはとても悩ましい課題ですが、双方向の合意形成に役立つ話し合いにしていけたらと思います。==杜のハーモニー♪ 代表 伊地山敏

○第10回 高次脳機能障害者家族会 3区(目黒・品川・大田)合同企画イベント 高次脳機能障害者は「働いています！」

10/20(日) 13:30~16:00 目黒区総合庁舎 2F 大会議室

主催:フォーラム大田高次脳/目黒区高次脳機能障害者家族会/品川区高次脳機能障害者と家族の会

共催:目黒区 後援:区西南部圏域高次脳機能障害支援普及事業(事務局玉川病院)/区南部圏域高次脳機能障害支援普及事業(事務局荏原病院)/昭和大学医学部リハビリテーション講座/三軒茶屋内科リハビリテーションクリニック/特定非営利活動法人いきいき福祉ネットワークセンター

・高次脳機能障害者からのメッセージ 当事者のパネルディスカッション 初台リハビリテーション病院 リハケア部長大川千恵子さんのお話し

・高次脳機能障害者、家族、支援者の邦楽演奏

○フォーラム大田高次脳 高次脳機能障害と困碁&心の唄コンサート、12/1(日)10:30~16:20 大田文化の森

大田区共催、後援:区南部圏域高次脳機能障害支援普及事業(事務局荏原病院)、TKK

詳細は、当日ご講演される柴本礼さんのブログを参照ください。 <http://hibikoujichu.blog.jp/archives/2019-09-08.html>

○ハイリハ東京定例会

1)11月10日(日) ハイリハ東京ニュース作成日

2)11月23日(土) 郊外活動

○高次脳機能障害者と家族の会 交流会「迎賓館赤坂離宮の見学&イタリアンランチ！」11/10(日)10:00~14:00 頃

集合:JR中央線・総武線 四ツ谷駅(赤坂口)、東京メトロ丸の内線・南北線 四ツ谷駅10時集合

参加費:1人1000円(ランチ代) 迎賓館参観料金1人1500円 持ち物:障害者手帳、

◇申し込み:参加者氏名、連絡先を添えて、FAX(03-3200-8970)、メール(koujinou_kazokukai@yahoo.co.jp)に
締切り:11/5

◇:問い合わせ・当日連絡先: 090-8036-8606(太田)、090-9204-2521(松枝)

====今回は、迎賓館赤坂離宮の見学とイタリアンのランチです。永年東京に住んでいても迎賓館に行ったことがない方は、多いかと思います。要人の訪問などのニュースで見られるきらびやかなお部屋に実際に入ることができます。ふっかふかの絨毯の上を歩いて、シャンデリアや天井画を見上げ、壁のレリーフや絵画を眺めたりして、たまには豪華な空間を楽しんでみてはいかがでしょうか?見学の後は、四ツ谷駅近くのイタリアンレストランで、気軽におしゃべりしながらランチを頂きましょう! みなさまの申し込みをお待ちしています。 ==高次脳機能障害者と家族の会 代表 今井雅子

○NPO 高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム 第38回ドリームサロン

11/23(土・祝)PM1:00~4:30 調布ドリーム(飛田給駅北口徒歩6分)

1部「主体性をもって生きる」齋藤 聡氏(高次脳機能障害者の会 Rita)

「当事者からみた失語症」友井 規幸氏(NPO 法人日本失語症協会理事)

2部 当事者と共に語り合おう!

◇申し込み:Fax:042-444-3068 メール:info@chofudream.com

-----∞
●新刊案内 『リハビリ 生きる力を引き出す』 長谷川幹著、岩波新書(2019.7.19)

— 岩波書店 HP 内容紹介: <https://www.iwanami.co.jp/book/b458084.html>

脳出血や脳梗塞、大腿骨骨折、パーキンソン病等人生の途中で病気やケガをした人たちが出合うのがリハビリ。本人が自分のもっている力を自ら引き出し、歩く、話す、働くことを再びできるように——40年近く、地域でのリハビリを理学・作業療法士、言語聴覚士等とともに実践してきた著者が、多くの事例とともに、その可能性を語る。

★長谷川幹先生は当協議会の顧問に就任頂いております。



●研究報告紹介

・半側空間無視の方を対象とした研究 https://www.creact.co.jp/item/welfare/attention/usn_attention/attention-top

・指伝話のご案内 <https://www.yubidenwa.jp/>

●「東京都高次脳機能障害リハビリテーション講習会」、8/31(土)午後、代々木オリンピックセンターカルチャー棟

日本損害保険協会助成事業、主催：東京都高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会(委員長：渡邊修氏)
総合司会：西脇恵子氏。

ご挨拶：東京都障害者医療担当部長 精神保健医：石黒雅浩様(小池百合子都知事代理)。

第一部「基調講演」橋本圭司先生：「発達障害と高次脳機能障害」

第二部「高次脳機能障害の回復を促す地域支援」～地域の取り組み～ 座長 渡邊 修先生

1) NPO 法人 VIVID ヴィヴィ(新宿区)より「リーディング劇」

2) NPO 法人調布ドリーム(調布市)より「グループリハビリ」

3) レジリエンス(国立市)より「高次脳機能障害のある方の就労(復職)支援」

第三部「高次脳機能障害の回復を促す語りと歌：交通事故による記憶障害を乗り越えて～歌う喜び♪」歌手：芹洋子氏

====384 人定員の会場が満員になるほど、多数の方々にご参加いただき、皆様に深く感謝申し上げます。東京都からは、小池百合子都知事代理の石黒雅浩様から、今後の高次脳機能障害施策について力強いお言葉をいただきました。

・橋本先生のお話しは、発達障害(新しい概念として、知的障害を伴わない場合、[神経発達症]とも言う)と高次脳機能障害との共通点、相違点など、治験の面からも新しく、詳しく学ぶことができました。神経発達症(今は発達障害をこのように言う)も高次脳機能障害も、予後の日常の生き易さや社会(就労)復帰には、当事者の強みを生かすことが大切であり、長い時間をかけて寄り添ってくれる療育者(家族または支援者)の理解と支援にかかわるとのこと。再認識させられました。当事者自身が作る自己救済ピラミッドの考え方は、新しい知見でした。

・VIVID 大塚みどり氏の熱心な回復への促し、皆様が楽しく!! 努力なさっておられるご様子を見させて頂きました。・調布ドリーム職員の崎山美和氏から、個別支援計画を活用しやる気を起こす支援の工夫(グループリハ等)をご講演頂きました。・レジリエンス蟹江幸二所長から、本人の好きなことを支援した方が脳の回復に繋がる。50種類以上のワークを取り揃えている。高次脳機能障害者には、必須の支援事業所と思いました。

・芹洋子氏の歌に癒されました。交通事故により、外傷性クモ膜下出血で倒れ、意識不明のところを救命され、その後、自分が歌手であったことも、歌詞も忘れてしまうほどの記憶障害を負ながら、懸命のリハビリで復帰された体験談と、会場の皆様との質疑応答、変わらぬ美しい姿や歌に回復への希望を皆様に与えていただきました。====理事長 細見みゑ

○港区主催「高次脳機能障害講演会」、10月20日(日)、13:30～16:30)

みなとパーク芝浦 1階「リーブラホール」(〒105-0023 東京都 港区 芝浦 1-16-1)

<講演1>13:40～15:00 [脳損傷による後遺症：てんかんの診断と治療]

～救命されたけれど…後遺症のてんかん発作が…どうしよう？～

講師:稲次 基希氏(東京医科歯科大学 医学部附属病院 脳・神経・精神 診療部門 脳神経外科/講師/医師)

<講演2>15:20～16:20 [高次脳機能障害者の自立と就労に向けて]

～東京都の高次脳機能障害支援普及事業の支援拠点である東京都心身障害者福祉センターが実施の、社会生活評価プログラムと就労準備支援プログラムから～

講師:中村 哲之氏 (東京都心身障害者福祉センター地域支援課 就労支援担当)

詳細は:http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=229

○第17回国分寺市障害者センターまつり「はばたけ!!サンサンゆめまつり」主催:国分寺市障害者センター

10月20日(日) 10:30～14:30、国分寺市障害者センター(国分寺市泉町 2-3-6)

TEL 042-321-1212(代) 当日は駐車場はなし。公共交通機関又は近郊の有料駐車場をご利用の上ご来場ください

内容:模擬店・イベントステージ・子どもコーナー企画

※メビウスのWAは手作り小物・バザー品販売、他の障害者団体や市民との交流、高次脳機能障害の啓発活動と相談等

OMUSIC FEST2019♪「くにたちこうじのう音楽祭」～どんな時も きっとそばに～ 主催:国立市しょうがいしゃ支援課

共催:就労移行支援事業所レジリエンス × 鈴木慶やすらぎクリニック(立川市) 10/30(水) 17:30～ くにたち市民芸術小ホール地下スタジオ(東京都国立市富士見台 2-48-1)

アクセス:・JR国立駅南口バス4番乗り場から「国立泉団地」、「国立操車場」、「矢川駅」行きのバスにて「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車 ・JR矢川駅北口から徒歩 13分・JR谷保駅北口から徒歩 13分 ※近くには国立市役所駐車場がありますが、なるべく公共交通機関をご利用ください。

<内容> ☆高次脳機能しょうがいって何? ☆歌う♪高次脳機能しょうがい ☆語る! 高次脳機能しょうがい・私たちこんなにハビリしています ・私たちこんな生活しています ・私たちこんなふう就職しました

◇申込み・問い合わせ: 国立市しょうがいしゃ支援課相談支援係担当:楠本・吉松

TEL 042-576-2111 FAX042-573-1102 メールアドレス:koji-nokino@city.kunitachi.lg.jp

~~~~~昨年引き続きの第2弾!今年も高次脳機能しょうがいをもつ皆さんが、おもいつき歌います。自分のことを語ります。今回はゲストも登場。総勢20数名。十人十色のハーモニー、是非お楽しみください。~~~~~

○「高次脳機能障害とともに奏でる 多摩マインドフルコンサート2019」共催:東京慈恵」医科大学附属第三病院リハビリテーション科/社会福祉法人調布市社会福祉協議会 11/24(日)13:30～16:00 総合福祉センター2階 201～203 会議室

ピアノ・バイオリン・チェロの演奏や合唱 定員:80名 \*定員に達したところで入場のお断りをさせていただきます。

締切り:11/21(木) 申込み:042-490-6675(調布社協ドルチェ)

○失語症講演会「生命の灯ふたたび」～障害があっても 年をとっても イキイキともそう生命の灯～ 主催:葛飾区

12/8(日) 午後1:00～4:00 ウェルピアかつしか 1階 ひがほりめもりあるほーる

講師:横張 琴子氏

◇ 申込み:「失語症講演会」・住所・氏名・電話番号を記入、電話 電子申請 はがき FAX で下記までお申し込み下さい。

葛飾地域活動センター(ウェルピア3階)、〒124-0006 葛飾区堀切 3-34-1 電話 03-5698-1336 FAX 03-5698-1337

以上